

防災教育の目指すべきもの

科学研究機関の立場から



客員研究員 水谷武司

目標

防災教育（一般向けの啓発・研修・訓練なども含む）が目標とするのは、自ら危険を予測しそれを回避できる能力を各個人に与え、また、地域・組織の防災をリードする人材を育成することです。

自然災害は一般に予測困難で突発的に起こり、地域性・局地性のとりわけ著しい現象です。このため、防災の最前線である地域の人々自らの判断と行動により被害を防止・軽減することに期待せざるを得ません。

各個人の自主的能力を高めるとはいつても、これはほぼ不可能なので、少数ながらも意識の高い人を育成して、地域・地区・組織の防災の中核とすることが必須となります。

対象・方法

この防災教育目標を達成するためには、学校における教育、地域住民に対する講習・体験学習など、いろいろな人々を対象にいろいろな方法での取り組みが必要です。

児童・生徒を対象にし、発達段階に応じた内容・方法での防災教育は基礎的な重要性をもっています。これは長期的にみて、将来社会の一員になったときに地域の防災を担う人材となることをも目指すものです。各種救援活動に参加する支援者（ボランティアなど）への成長も期待できるでしょう。

学校教育では適切な教材、指導法、指導能力が重要で、発達段階ごとの各種教材の作成・提供、指導者の研修などが必要になります。その地域での災害事例は効果的な教材です。

最も実施されているのは避難訓練ですが、より高学年になれば、単に決められた場所に機械的に移動するだけではなく、状況に応じて危険を予測し避難の場所・経路などを選択するといった自主的判断能力の開発が望まれます。

地域住民一般に向けた講演会・講習会・体験学習等が、自治体などにより開催されていますが、参加者はきわめて少ないのが実状です。せめて期待したいのは、これらの意識の高い人が中核となって活動し、地区の防災力向上に貢献することです。

自治体・関係機関・企業などの防災担当者に対する実務研修では、自然災害に関する広範な知識を伝えることが望まれます。

研究機関の役割

防災教育の基礎になるのは、自然災害についての科学的な知識であり、これを正しく伝えることが、研究機関の主要な役割分担になります。災害を起こす自然現象の機構についての知識は、災害の防止・軽減につながる道筋を示さなければ、理科教育の範囲にとどまります。一般向け・低学年向けに内容・表現をやさしくするのはやむをえませんが、人材育成などのためにはある科学的水準は維持したいものです。

研究の場から発信し防災教育にも取り入れられることになる各種の予測・想定などの結果は、その設定条件、計算方法、数値のとり幅・精度などを併せ示し、また、災害回避や被害軽減に関わる要因とその影響度などを明示する必要があります。各種メディアは、一部の数値や結果を誇大に伝え、所定の筋書きに合う情報だけを選別して流すという傾向がつよいので、それを行わせないような関与が求められます。

主な教育内容

ここでは、地域の防災教育において含まれるべき内容の主なものにつき、簡単に示します。地形・地盤条件など地域の土地素因は、そこで起こる災害の種類と危険の程度を決める主要因であり、地震や大雨などの災害誘因とは異なり場所ごとに確定している要因なので、土地の危険性把握とそれに基づく災害予測は、地域防災の基礎になります。

地域危険情報には自治体が提供するハザードマップがあります。これらは一般に、ある外力条件を設定しある一定の方法により求めた危険域などを示すリスク情報（いわば確率的なもの）で、安全域を保証するものではない、避難用ではないことを伝えねばなりません。

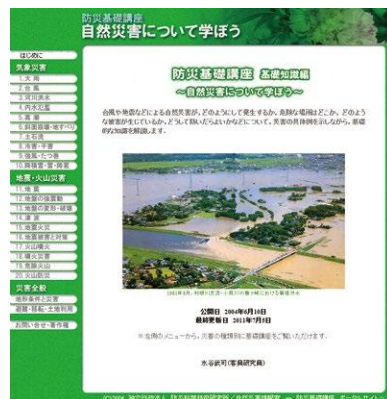
災害事例は有益な教材で、その地域で起こった災害だけでなく、類似の土地環境のところでの災害例から被害の実態を知り教訓を学ぶと必要があります。最後に起こった軽微な災害経験は危険の判断を誤らせることが多いので、注意しなければなりません。

各種条件を設定した場合の災害シナリオを作成して災害を模擬体験し、対応策を準備しておくことは重要です。災害シナリオは、ある危機的現象が発生・接近した場合に、それぞれの場所でどのような事態がどのような時間経過で起

り、どのような対策・対応が各時点で必要となるかを示すものです。

設定条件はその地域の災害環境に応じた現実的なものを与えます。たとえば広域避難が本当に必要なのは限られた地区です。シナリオ作成の基礎は、地域の災害危険性の把握および多数の災害事例の学習です。

個人の立場でも、場所・時刻など生活実態に即した現実的シナリオをつくり、対応策を苦心構えを確かにしておく必要があります。最優先とすべきは人身への直接被害の回避であり、その後のサバイバルへの準備は、これを切り抜けてこそ役立つことなのです。最終的に生命・財産を護るのは個々人の防災努力であり、この能力を高める教育が重要です。



Web発信の防災講座



一般向けの防災学習会